

ケヤキを美しく ボランティアが剪定

～忍の里プララ～

市 内の公共施設は、清掃作業や樹木の
手入れなど、地域の皆さんにご協力
いただき、美しく保たれています。

このほど、忍の里プララでは、ボランティ
アの方に、ケヤキの木を剪定していただき
ました。

今回作業していただいたのは、市内の方
をはじめとするレイカディア大学院芸科を
卒業された皆さんで、昨年度にも施設周辺
の除草作業や垣根等の剪定に協力いただい
ています。専門的な知識を身につけた皆さ
んは、慣
れた手つ
きで作業
を進め、
ケヤキは
すっきり
と整えら
れました。



▲忍の里プララでケヤキの剪定をするボランティアの皆さん

野洲川に稚アユを放流

～綾野小学校～

水 ロスポーツの森近くの野洲川で、5月
22日、綾野小学校4年生の児童が稚ア
ユの放流を行いました。

野洲川漁業協同組合が、子どもたちに命の
尊さや河川環境を学んでもらおうと、毎年野
洲川近くの小学校に呼び掛けて実施している
ものです。

放流したのは、4月に琵琶湖で捕れた体長
11～13センチの稚アユ9,000匹です。神
田組合長から「アユは1年しか生きられない。
環境に敏感な魚なので、川を汚さないように
して」と説明を聞いた児童は、バケツに分け
てもらい川岸から次々と放流。アユが元気に
川をさかのぼる様子に歓声を上げていました。



▲稚アユを放流する綾野小の児童たち

焼き杉のあんどん作り 祖父母と交流

～鮎河小学校～

鮎 河小学校で5月27日、全校児童と祖父
母らが、焼き杉のあんどん作りを体験
しました。

地元の南静さんの工房で加工された焼き杉材
を使用。児童と祖父母らは協力して木枠を組み
立て、木枠の四方に張った和紙に、絵の具や墨
で絵を描いたり、葉っぱで模様をつけたりして
自分だけのあんどんを作り上げました。

中にもうそくを立てて出来上がった約80個の
あんどんには、早速明かりがともされ、暗くなっ
た体育館を柔らかい光が包み込んでいました。
その後、児童と祖父母らは給食も一緒に食べ、
楽しいひとときを過ごしました。



▶仲良くあんどんを作る児童と
おばあちゃん

音楽を通じた国際交流 再び

～市少年少女合唱団～

2 年前に碧水ホールで公演したドイツの
ザールフェルト室内男性合唱団のコン
サートマネージャー、ゲルハルト・ホイスラー
さんが来日し、5月16日に市少年少女合唱団
の練習会場を訪れました。

コンサートは、甲賀国際交流音楽会実行委
員会が主催、少年少女合唱団も特別出演しま
した。今回の再会は、来日中のホイスラーさ
んの申し出で実現したものです。

ホイスラーさんは、合唱団員にシューベル
ト作曲の「野ばら」などをドイツ語で歌唱指導。
熱心に発音を練習する子どもたちの印象を「と
ても規律正しい。ドイツの歌を心から歌って
くれてうれしい」と話していました。



▶ドイツ語で歌いながら交流する
ホイスラーさんと合唱団員

自然のテーマパークに 園児を招待

～NPO法人甲賀の環境・里山元気会～

N PO法人甲賀の環境・里山元気会が活動する水口町松尾の里山に5
月20日、水口北保育園の年長児が訪れ、
山遊びを楽しみました。

里山元気会では、自然の中で遊んでもらお
うと、毎年地元の園児たちを招待しています。
里山に到着した園児たちは、イチゴ狩りと
サツマイモの苗植えをした後、生き物観察
やザリガニ釣りを楽しみました。また、会
員手作りのクライミンググローブや林間ロープ
ウエーなど、スリル満点の遊具に子どもたち
は大喜び。里山での一日を満喫していました。
同会の松本理事長は、「自然を愛する心を
育み、体力づくりや環境を学ぶ場になれば」と
話しています。



▶空ブランコを楽しむ園児たち

学校ビオトープが完成

～甲南第三小学校～

甲 南第三小学校に新しいビオトープが
完成し、5月29日、竣工式が行われ
ました。

昨年度に行った創立百周年記念事業実行
委員会から寄付を受けて校舎中庭にあった
ビオトープを改修したもので、広さは51㎡。
田、池、畑などが一体になっているのが特
徴で、地域の里山をコンパクトにイメージ
しています。

滋賀ビオトープ研究会の村上副会長は記
念講演で「多くの生き物が集まってくるよ
うに、ビオトープの世話をしてください」と
と児童らに願いました。

テープカッ

トに続いて、
児童らは、田
んぼに古代米
の緑米を植え
たり、地域に
育つチガヤを
植栽し、環境
学習をスター
トさせまし
た。



▲ビオトープの一角にチガヤを植える児童